

第52回ふるさと講座

# 雑木(ぞうき)に 魅せられて

～日本の広葉樹を見直そう～

主催：一般財団法人下呂ふるさと文化財団

講師：河尻和憲氏(下呂市)



木の種類は大きく分けて針葉樹、広葉樹がありますが、日本には800種類以上の広葉樹があると言われています。針葉樹の約40種類に比べて極めて種類が多く、昔からいろんな用途に使われていました。でも現在の日本の木材は戦後植えられ森林全体の4割を占めるまでになったスギ、ヒノキなどの人工林の木が主に利用されて

ています。荒廃を防ぐために人工林の木材を積極的に利用することが重要であることは言うまでもありません。ただ、林業の『林』とは針葉樹の人工林だけではないはずです。この度は天然林の広葉樹(雑木)にも目を向けてみました。雑木の大きな魅力とその利用について見直してみたいと思います。

**3/8(日)** 13:00開場  
13:30開講

会場：下呂交流会館 マルチスタジオ  
入場無料(どなたでも入場いただけます)



## ■講師 河尻 和憲(かわじり かずのり)氏のプロフィール

株式会社金山チップセンター代表取締役。15年前、家業を継ぐため17年間勤めた大手企業を退社し、Uターン。会社の業務は製紙用チップ、発電用燃料チップの生産・販売。また、境界の明確化作業等森林の集約化、路網の整備や搬出間伐、森林経営計画の策定などの森林整備。さらに、複数の広葉樹を組み合わせたインテリア家具の開発に取り組み、昨春秋、家具ブランド『MOCTAVE』を設立、「永く愛情を持って、人生を共に暮らす家具テイスト」をコンセプトに、東京代官山にショールームを構えた。森林・林業・木材産業の振興に奔走しつつも、森を知らない方々との架け橋になりたいと考え、森林インストラクターの資格を取得、忙しい合間を縫って活動している。



岐阜県木の国・山の国県民会議委員/下呂市森林管理委員会 副委員長/森林インストラクター/  
岐阜県里山インストラクター/慶應義塾大学卒

問合せ：一般財団法人下呂ふるさと文化財団

0576-25-5000 (下呂交流会館内)